

平成23年度  
実施事業

事務事業名 子ども会活動振興助成金

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	生涯学習活動の促進
施策	3	青少年が健やかに地域で育つ環境づくり
小分類	1	地域との連携による青少年の健全育成
主要な施策	1	青少年の健全育成
事務事業番号	006	事業開始年度 昭和 62 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	教育部	グループ名	社会教育グループ
-----	-----	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	子どもたちにさまざまな体験と「生きる力」を身につけてもらうために、登別市子ども会育成連絡協議会を支援する。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	登別市子ども会育成連絡協議会の活動を支援するため、補助金を交付する。 《登別市子ども会育成連絡協議会の主な事業概要》 ・第36回こいのぼりマラソン大会 ・体験学習 ぱんづくり ・胆子連リーダー交流会 ・第29回かるた大会 など
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	青少年の健全育成は、行政だけではなく地域の関係者の協力が不可欠であるため、同協議会への支援を行う。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市補助金等の事務取扱に関する規則

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	830	830	830	830	830
事業費 合計			830	830	830	830	830

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	子ども会加入者数	人	目標値	3,500	3,000	3,000	3,000	3,000
			実績値	3,492	2,538			
	子ども会事業参加者数	人	目標値	450	450	450	450	450
			実績値	320	403			

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
市で支援することによって、上記の事業の運営が円滑に行われ、子どもたちの健全育成が図られている。	青少年の健全育成は、行政だけではなく地域の関係者の協力が不可欠であるため、同協議会への支援をお継続していく。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見	子どもたちの健全育成に努める同協議会の支援は必要である。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である		
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である		
	国、道、民間等の事業と重複・類似している		
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見	青少年の健全育成は、行政だけではなく地域の関係者の協力が不可欠であるため、同協議会への支援は必要である。
	市民アンケートの結果から必要性が高い		
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い		
	市民の大部分が関連することから必要性が高い		
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見	子どもたちの健全育成を図る同協議会の助成金を削減することは難しい。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い		
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない		
	将来的に効率性を向上できる		
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見	子ども会活動の充実や育成者相互の連携強化など、次世代を担う子どもたちに生きる力を育んでいる。
	市民、団体等の声から成果を感じられる		
	目に見える形で成果があがっている		
	成果の把握は困難である		

担当グループによる評価 《Check》

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	青少年の健全育成は、行政だけではなく地域の関係者の協力が不可欠であるため、同協議会への支援は必要である。
-----------	----------------------	--

行政評価会議による評価 《Check》

<b>維持</b>	備考
-----------	----